



# 学校だより

令和6年3月4日  
市川市立第六中学校  
校長 植木 昭貴

## 【感謝の気持ちがあふれた予餞会】

開会式	校長・生徒会長あいさつ、生徒会本部によるオープニング
管弦楽部発表	演奏「アナと雪の女王（メドレー）」、「僕のこと」
1年生発表	ダンス（ジャンボリミッキー）、合唱「明日へつなぐもの」
2年生発表	クイズ劇、合唱「明日はきっといい日になる」
生徒会発表	3年生へ送るスライド、お世話になった先生からのビデオレター
閉会式	記念品贈呈、在校生代表の言葉、3年生より（お礼の言葉、合唱「予感」）



3月1日（金）予餞会が行われました。

本校にとって全校生徒が一堂に集まる最後の機会であり、この日のため生徒会が中心となって企画し、1，2年生が心を込めて準備を進めてきました。

当日は、管弦楽部による「マツケンサンバ」の演奏と1，2年生の拍手の中、3年生が入場し予餞会がスタートしました。発表はどれもクオリティーが高く、全校が一体となって工夫を凝らした楽しい企画に笑い、心の込もった演奏や合唱に感動するなど、素晴らしい時間を共有することができました。



管弦楽部



1年（ダンス）



2年（クイズ劇）



休憩時間のコマ



3年（合唱）



背面装飾

閉会式で3年生の代表生徒より「本当に楽しかった。この会で私たちも卒業していくという実感が湧いてきた。中学校の3年間は長いようで短い。1，2年生には、3年間で意義のあるものにするためにも、自分がしたいことはぜひ挑戦してほしい。」とありました。その後の合唱「予感」は圧巻で、3年生の団結力と思いが詰まった素晴らしい合唱が体育館に響きました。限られた時間でしたが、感謝の気持ちあふれる思い出深いお別れの会となり、多くの3年生から「楽しかった」という声が聞かれました。

3年生はあと数日で卒業です。残り少ない六中での生活を大切に過ごしてください。そしてこれからも「優しさとしんじさ」を忘れずに、自分で掴んだ進路先へ自信をもって進んでほしいと願っています。企画運営をしてくれた生徒会本部の皆さん、1，2年生の皆さん、本当にお疲れさまでした。

※「予餞会」・卒業式の前に「予」（あらかじめ）「餞」（はなむけ）をする会のこと。「餞」は旅立ちや門出を祝って詩歌や品物等を贈ること。学校によっては「三年生を送る会」、又は「三送会」（さんそうかい）ともいわれる。

※学校ホームページにも関連した記事を掲載していますので、ぜひご覧ください。（3月1日掲載分）